

『日本の国は簡単に沈まない !!』

－ わが国の保有資産（日銀・財務省）と国と地方の債務残高から考える －

立憲民主党 衆議院議員 福田 昭夫

【わが国の保有資産】 2024年2月20日 衆議院 総務委員会における日銀・財務省の答弁から

1. 国全体の金融資産(2023年9月末)			9,589	兆円
(1) 家計(個人)の金融資産(2023年9月末)	2,121	兆円	}	4,513
(2) 非金融法人の金融資産(2023年9月末)	1,508	兆円		
(3) 一般政府の金融資産(2023年9月末)	814	兆円		
(4) 民間・非営利団体の金融資産(2023年9月末)	71	兆円		
(5) 金融機関の金融資産[預り金も含め](2023年9月末)			5,076	兆円
2. 法人企業の内部留保資金[金融業・保険業を含む](2022年度)			627.5	兆円
3. 対外純資産残高(2022年12月末/国際収支統計)			約 419	兆円
4. 外貨準備金(2022年度/外為特会)			約 169.7	兆円

【国と地方の債務残高の見込額】 2024年2月20日 衆議院 総務委員会における日銀・財務省の答弁から

○ 2023年度末(令和6年3月末)見込額 1,285 兆円

※ わが国は、国と地方を合わせて、1,200兆円超の多額の債務を抱えています。

一方、わが国は1,200兆円超を上回る多額の金融資産を持っています。しかも、国際収支(経常収支)も1980年代から黒字で、対外純資産残高は約419兆円と、世界の金持ち国となっています。経常収支が黒字で発行している国債は全て自国の通貨建て(円)で発行していますから、わが国が簡単に財政破綻することはありません。

また、世界各国の国債の信用度を示すCDS(クレジット・デフォルト・スワップ)のわが国の保証料率は、ドイツに次いで2番目に低い率であり、信用度が高いことが示されています。

なお、国債は、子や孫たちへの付け回しではありません。国債の債務者は政府であり、国民は債権者です。わが国が財政破綻しない限り、国債は、子や孫たちへの財産(債権)の仕送りです。

※ 今、行うべき大改革は、年々必要となる ①子育て ②年金 ③医療 ④介護 ⑤障害福祉 ⑥食料安全保障 等の費用を、消費税を引き下げて、消費税創設以来、優遇され続けてきた大企業と富裕層の法人税・所得税(金融所得課税を含む)等を担税力に応じて負担を求める、税財源の賢い集め方をする改革です。